臨床調査個人票

|--|

## 034-2 神経線維腫症 (II型)

■				
受給者番号		判定結果	□ 認定	□ 不認定
■ 基本情報		I	1	
姓 (かな)		名 (かな)		
姓 (漢字)		名 (漢字)		
郵便番号			<u>'</u>	
住所				
生年月日	西暦  年	月	H	*以降、数字は右詰めで 記入
性別	□ 1. 男 □ 2. ;	女		
出生市区町村				
出生時氏名	姓(かな)		名 (かな)	
(変更のある場合)	姓 (漢字)		名(漢字)	
	□ 1. あり	□ 2.なし		] 3. 不明
	発症者続柄			
	□ 1.父 □ 2	<u> </u>	□ 3.子	□ 4. 同胞(男性)
家族歴	□ 5. 同胞(女性)	□ 6. 祖父(	父方)	] 7. 祖母(父方)
JANOIE .	□ 8. 祖父(母方)	□ 9.祖母(#	母方)	] 10. いとこ
	□ 11. その他 *11 を選択の	場合、以下に記え	N.	
	続柄			
発症年月	西暦 年	月		

社会保障					
介護認定	□ 1. 要介護	2. 要支援	□ 3.なし		
要介護度	□ 1 □ 2	<u> </u>	4 5		
生活状況					
移動の程度	<ul><li>□ 1.歩き回るのに問題はな</li><li>□ 3.寝たきりである</li></ul>	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	. いくらか問題がある		
身の回りの管理	<ul><li>□ 1. 洗面や着替えに問題は</li><li>□ 3. 自分でできない</li></ul>	ない	. いくらか問題がある		
ふだんの活動	<ul><li>□ 1. 問題はない</li><li>□ 3. 行うことができない</li></ul>	2	. いくらか問題がある		
痛み/不快感	□ 1.ない [	◯ 2. 中程度ある	□ 3.ひどい		
不安/ふさぎ込み	<ul><li>□ 1. 問題はない</li><li>□ 3. ひどく不安あるいはふ</li></ul>		中程度		
■ 診断基準に関する事項 A. 症状					
理学所見					
身長	cm	体重	kg		
脈拍	回/分	体温	. 度		
拡張期血圧	拡張期血圧 mmHg		収縮期血圧 mmHg		
症候					
斑	色素斑	□ 1. あり	□ 2. なし □ 3. 不明		
21.	色素斑の個数	個			
中枢神経腫瘍	右聴神経鞘腫(前庭神経鞘腫)	□ 1. あり	□ 2. なし □ 3. 不明		
	左聴神経鞘腫(前庭神経鞘腫)	□ 1. あり	□ 2. なし □ 3. 不明		
	右三叉神経鞘腫	□ 1. あり	□ 2. なし □ 3. 不明		
	左三叉神経鞘腫	□ 1. あり	□ 2. なし □ 3. 不明		

他の脳神経鞘腫	III、IV、VI 脳神経	□ 1.あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	VII 脳神経	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	IX、X、XI 脳神経	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	XII 脳神経	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	頭蓋内髄膜腫	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
頭蓋内髄膜腫・	頭蓋内髄膜腫の個数		個			
眼窩内腫瘍	脳室内髄膜腫	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	眼窩内腫瘍	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	脊髄神経鞘腫	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	脊髄神経鞘腫の個数		個			
脊髄腫瘍	脊髄髄膜腫	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
	脊髄髄膜腫の個数		個			
	脊髄神経膠腫(多くは上位腫)	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
<b>小皮 小工ぼ</b> 店	末梢神経鞘腫	□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明		
皮膚・皮下腫瘍	神経鞘腫の個数		個			
若年性白内障	□ 1. あり □ 2. な	l 🗌	3. 不明			
造影 MRI 検査の 実施	□ 1. 実施 □ 2. 未実施					
	内容					
	□ 1. 実施 □ 2. 未	実施				
CT検査の実施	内容					

聴力検査の実施	□ 1. 純音	聴力検査			□ 2. 語	音聴力検査	
「「「「「「「「」」。 「「「」」。 「「」」。 「」」。	□ 3. 聴性	脳幹反応	倹査		□ 4.未	<b>実施</b>	
眼科的検査の	□ 1. 実施		□ 2. 未	実施			
実施	内容						
B. 遺伝学的検査							
遺伝子検査の実施		□ 1. ∌	<b>尾施</b>	2.	非実施		
□ merlin 遺伝子							
<診断のカテゴリー)	>						
☐ Definite 1:MF	RI またはCT <sup>-</sup>	で両側聴や	神経腫瘍(育	前庭神経	鞘腫)を認める		
Definite 2:親・子・兄弟姉妹のいずれかにおいて家族歴が存在し、片側性の聴神経腫瘍(前庭神経腫)、または神経鞘腫・髄膜腫・神経膠腫・若年性白内障のうちいずれか2種類が存在する							
□ いずれにも該当しない							
症状の概要、経過、特記すべき事項など *250 文字以内かつ7行以内							
■ 発症と経過							
一元ルと性地	1. 治癒				3. 不変		
経過の状態	□ 5. 急速	に悪化			□ 6. その他		
	1. あり		2. <i>t</i> s	: :			
後遺症	後遺症の内容	容					

## ■ 重症度分類に関する事項

神経線維腫症 II 型	のスコア(神経症状)				
	dB				
右聴力レベル	□ 1. 右聴力レベルが 70dB 以上 100dB 未満 (1点)				
	□ 2. 右聴力レベルが 100dB 以上 (2点)				
	dB				
左聴力レベル	□ 1. 左聴力レベルが 70dB 以上 100dB 未満 (1点)				
	□ 2. 左聴力レベルが 100dB 以上 (2点)				
顔面神経麻痺	□ 1. 一側麻痺 (1点) □ 2. 両側麻痺 (2点) □ 3. なし				
小脳失調	□ 1.あり (1点) □ 2.なし				
一側または 両側顔面知覚低下	□ 1. あり(1 点) □ 2. なし				
嚥下障害または 構音障害	□ 1. あり(2 点) □ 2. なし				
複視	□ 1. あり(1 点) □ 2. なし				
視力障害	□ 1. 一側失明 (2点) □ 2. 両側失明 (4点) □ 3. なし				
半身麻痺	□ 1. あり(2 点) □ 2. なし				
失語	□ 1. あり(2 点) □ 2. なし				
記銘力低下	□ 1.あり (1点) □ 2.なし				
痙攣発作	□ 1.あり (1点) □ 2.なし				
	□ 1. 軽度 (2点) □ 2. 高度 (4点) □ 3. なし				
脊髄症状	□ 1. 痛み □ 2. 歩行障害 ■ 軽度脊髄症状の種類 □ 1. 痛み □ 2. 歩行障害 ■ 1. 痛み □ 2. 歩行障害 ■ 1. 痛み □ 2. 歩行障害 ■ 1. 痛み □ 2. 歩行障害 □ 2. 歩行				
	3. 上肢脱力 4. 排尿排便障害				
	高度脊髄症状の種類				
スコア合計	点				
重症度分類					
重症度	□ 1. Stage0 (0 点) □ 2. Stage1 (1 点) □ 3. Stage2 (2 点)				
里/正/文	□ 4. Stage3 (3 点) □ 5. Stage4 (4 点以上)				

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	□ 1. あり						
開始時期	西暦 日 年 日 月						
離脱の見込み	□ 1. あり						
種類	□ 1. 気管切開孔を介した	□ 1. 気管切開孔を介した人工呼吸器					
	□ 2. 鼻マスク又は顔マス	クを介した人工呼吸	器				
施行状況	□ 1. 間欠的施行	□ 1. 間欠的施行 □ 2. 夜間に継続的に施行					
	□ 3. 一日中施行	□ 4. 現在は未施行					
生活状況	食事	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助			
	車椅子とベッド間の移動	□ 自立	□ 軽度介助				
	早何丁とハット同の移動	□ 部分介助	□ 全介助				
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能	71 12			
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助			
	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能	部分介助/不可能			
	此怎	□ 自立	□ 軽度介助				
	歩行	□ 部分介助	□ 全介助				
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助	一不能			
	着替え	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助			
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助			
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助	□ 全介助			

医療機関名	
指定医番号	
医療機関所在地	
電話番号	*ハイフンを除き、左詰めで記入
医師の氏名	印 ※自筆または押印のこと
記載年月日	西暦 月 月 日
診断年月日	西暦

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 か月間で最も悪い 状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、 「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12日健発 1112 第 1 号健康局長通知)を参照の 上、ご記入ください。
- ・診断年月日欄には、本臨床調査個人票に記載された内容を診断した日を記載してください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。